



スポーツ振興くじ助成事業



企業版ふるさと納税制度により、企業からの寄附を運営の一部に活用しています。

# Kia Ora! ニュージーランド&日本のコーチたち!

今回は「次世代を育てること」に情熱を注ぎ、「自分たちがもつ知識は喜んで共有する」という、素晴らしいコーチたち7人が赤磐市に来てくれました。NZから現役ジュニア&ユースコーチ、高校教員、小学校校長、元ニュージーランド代表選手の肩書をもつ6人。また男子インドアホッケー日本代表ヘッドコーチも加わり、ホッケーの楽しさ、スポーツを通じた交流の素晴らしさを市民のみなさんと共有しました。

オリンピックレガシーとして、赤磐市が東京オリンピック後も続けているホストタウン交流。2021年以降、ニュージーランド&カナダ合わせて4回目となる今回の交流は、週末の交流で過去最多の参加者数を記録しました。親子で体を動かすことを楽しみたい家族、子どもたちが園や学校で先に交流をして「またコーチたちに会いたい」と子どもに誘われて参加した家族、ホッケーをやってみたい、NZの人と触れ合いたいと思って参加くれた人。NZ&日本のコーチたちと体を動かしながら「笑顔」と「いいね！」があふれる時間となりました。

教育関係者としての目線で、日本の教育現場にふれ「驚きと学びの多い1週間だった」と言うNZのコーチたち。「日本は素晴らしい国だと知っていたが、今回その理由がわかった」と伝えてくれました。その理由とは。。

## 園、学校での交流（全4校園）

3月5日～8日実施

3/5  
とよた  
保育園

サプライズの歓迎太鼓とダンスで大盛り上がり。子どもたちが「うらじゃ」の踊りと、太鼓を披露してくれたあと、NZのコーチたちも太鼓にチャレンジ。子どもたちが上手に教えてくれました。また「みんなで一緒に踊りたい」とのリクエストにコーチたちも立ち上がり、音楽に合わせて全身で楽しみました。その後、ホッケー体験。「もう少しやりたかった!」と思うくらい、あっという間に1時間が過ぎました。



子どもたちが折り紙で作ったチューリップとメダルをプレゼントしてくれました。NZコーチたちは「本当に子どもたちが作ったの？先生じゃなくて？」と驚いていました。日本人の器用さはこの年頃から生まれているんだね、と感心するコーチたちでした。

磐梨小学校での交流1日目は外国語授業、給食から昼休みを一緒に過ごし、5時間目は体育の時間にホッケー教室を実施しました。1日目はあいにくの雨。昼休みは教室で昔あそび（けん玉、こま、竹とんぼなど）をしたり、体育館で一緒に体を動かしたりして交流しました。外国語の授業では色や形のカルタで盛り上がりました。体育では、ホッケーと一緒にして、こどもたちの上達の速さにNZのコーチたちは感心していました。北京オリンピックに出場したスプリンターのジェームスと競争した児童たち。6年生は卒業前の思い出として、オリンピックとの競争を楽しんでくれたでしょうか。

3/5,3/7  
磐梨小



2日目、書道の時間では児童が先生となり筆遣いや書き順を教わりました。この日は晴れ！業間休みは学校に隣接する多目的広場（ホッケー場）でボールを蹴ったり、鬼ごっこをしたり、「また会えてうれしいよ」とコーチたちも児童たちもリラックスした雰囲気。体育の時間には、広い人工芝の上でホッケー教室をしました。



ニュージーランド国歌で歓迎してくれた子どもたち。NZでは英語と先住民マオリの言葉「マオリ語」も公用語のひとつ。マオリ語と日本語は音が似ていることから、こどもたちはとても自然な発音で上手にマオリ語NZ国歌を歌いました。

鬼につかまるとタコになる「タコ鬼ごっこ」やボールを使った追いかっこなどで準備運動をした後は、ホッケー体験。「ホッケーをまたやりたいと思ってくれたらうれしい」と言うミッシェルさん。NZ国旗を振るこどもたちのアーチを笑顔で進み、ハイタッチでお別れしました。

**3/6**  
あすなる  
こども園



**3/7**  
城南小

2021年東京オリンピック前にコロナ禍で直接交流ができない中「NZ応援ソング」を歌ってNZチームを応援をした城南小4、5年生の児童たち。コーチたちはその時の映像を見て「まだ覚えているなら一緒に歌いたい!」と話していました。授業の始まりに子どもたちと輪になり肩を組み、スピーカーから音楽を流すと大合唱が始まりました。Tutira Mai Nga Iwiでみんなが笑顔になり、心ひとつになりました。この日からインドアホッケー日本代表ヘッドコーチの中條さんも加わり、さらに充実した交流となりました。



東京オリンピック後、ホストタウン交流過去最多の参加者と、参加バラエティー。赤磐市消防本部や熊山剣道スポーツ少年団も交流に加わり、たくさんの市民がホッケーだけでなく、放水&心肺蘇生体験、剣道体験、ニュースポーツ体験をしました。地域のみなさんとNZ&ジャパンのコーチが体を動かしながら広場で交わる様子は「言葉を越えた交流」でした。



「人の頭をたたかなくて、できないよ」と尻込みをするNZコーチたちに、「思いっきりどうぞ!」という剣士。



元教師でオークランドホッケー連盟代表として、長年教育と運営に関わってきたマノジさん。「岡山県、赤磐市にはアスリートの原石がたくさんいる」「スポーツをするときに一番大切なのは笑顔でいること」「失敗はたくさんすること」「チャレンジすることは楽しいことだし、良いことだということを忘れないでほしい」「コーチや大人たちもそれを覚えていてほしい。そして子どもたちを励まして」と。



大きくうなずいたり、「オッケー！」と反応したり、NZコーチたちとしっかりコミュニケーションをとろうとする小中学生。「一番大切なことは楽しむこと。笑顔を忘れてはいけないよ。」とコーチからのアドバイス。



地域ホッケークラブや部活動指導者からの質問に丁寧に答えてくれるコーチたち。



## 最後に...

NZコーチたちが、赤磐市で過ごした一週間で感じたこと、気づいたことを教えてくださいました。「日本が素晴らしい国なのは教育の賜物。小さなころから、助け合うこと、人の話をきくこと、相手を敬うこと、丁寧にものを扱うことを学んでいる。どの国も大人や教師たちはそれを目標にしているが、これほど成功している国はないのではないかと思います。」

使ったものを片づけるとき、きれいにたたむ&整えるが体に染みついているなんて、信じられない。片づけるとは物を箱に入れたり、あった場所に戻すだけじゃないんだ。(休み時間、授業後の片づけの様子を見ての言葉)

この真面目さと、謙虚さと我慢強さがあればアスリートとしてもトップクラスになる素質はみんな持っている。ただひとつ、必要なのはこれじゃないかな。というマノジさん。

それは“自信”。自分を信じること、やればできると思うこと。アジア人に共通しているかもしれないけれど、きっともう少し必要なのはそこだけ。それは大人が励ませばいい。成功している人ほど失敗をたくさんしているし、チャレンジし続けている。赤磐市で出会ったこどもたちは、すでに継続する力や、アドバイスを聞く柔軟な心を持っている。あとは自信をもつことだけ。それだけで、こどもたちはどんどん前向きに成長する。また、ホストタウン交流についても、体験したことは子どもたちの記憶に大きく残る。それが郷土愛につながる。そのお手伝いができるのであれば、これからも喜んでお手伝いしたい。」と言われました。



ジェームスさん  
Mr. James Dolphin

中條さん  
Mr. Tomohiro Chujo

ラーಜさん  
Mr. Rajesh Pancha

ミッシェルさん  
Ms. Michelle Walker

ウメさん  
Mr. Umesh Hari

マノジさん  
Mr. Manoj Daji

サンジェイさん  
Mr. Sanjay Rama

## Thank you, coaches!